



たかはしがわ ちょうさ
高梁川の水辺の生きもの調査
たかはしがわ ちょうさ
(平成 29 年度高梁川水生生物調査)



ちょうさ
1 調査の目的

たかはしがわ かんきょうほぜんいしき たかはしがわ
高梁川に対する市民の環境保全意識の向上のために、高梁川に生息する
ちょうさ
水辺の生きものを調査しました。

ちょうさ ないよう
2 調査の内容

ちょうさ
(1) 調査した水辺の生きものと季節

- ぎよるい ぎよるい ていせいせいぶつ
・魚（魚類）、魚類以外の水辺の動物（底生生物）、川底の石の表面に付着
した小さな植物の仲間（藻類）について調査しました。
- ぎよるい そうるい ちょうさ
・「魚類」、「藻類」については平成 29 年 9 月に調査しました。
- ていせいせいぶつ ちょうさ
・「底生生物」については平成 29 年 12 月に調査しました。

ちょうさ
(2) 調査地点

- ちょうさ たかはししない たかはしがわ
・調査地点は高梁市内を流れる高梁川本流の 2 地点としました。
きちょう かくにん
（貴重な生きものが確認されたため、場所については示しません）

ちょうさ
(3) 調査の方法など

- ちょうさ
・調査を行った川の深さは約 10～40 cm くらいで、底には砂や様々な大きさ
の石がありましたが、10～50cm くらいの大きさの石が多く見られました。
- ぎよるい もぐ え あみ とあみ
・「魚類」については、潜って観察したり、柄のついた網や投網などにより
さいしゅう
採集し、名前（種名）を調べました。
- ていせいせいぶつ すきま
・「底生生物」については、川底の石の表面や隙間などに生息する水生生物
あみ けんびきょう
を網などにより採集し、顕微鏡により名前（種名）を調べました。
- そうるい そうるい さいしゅう けんびきょう
・「藻類」については、川底の石の表面に付着した藻類を採集し、顕微鏡に
より名前（種名）を調べました。

3 調査の結果

(1) 魚類

- 10種の魚類が確認されました。
- 最も多く確認されたのは、オイカワ（地方名ハエなど）、カワヨシノボリ（地方名ゴリなど）でした。
- 貴重な魚類として、アカザ、カジカ類の2種が確認されました。

確認した魚類

種名	貴重な魚類のレベル
オイカワ	
カワムツ	
タカハヤ	
ウグイ	
ムギツク	
カマツカ	
アカザ	絶滅危惧2類（環境省・岡山県）
アユ	
カジカ類	準絶滅危惧または絶滅危惧1類（環境省） 絶滅危惧2類または情報不足（岡山県）
カワヨシノボリ	

注）貴重な魚類の種名を〇〇〇で囲んでいます。

(参考) 貴重な魚類のレベルについて

レベル	レベルの説明
絶滅危惧1類	絶滅の危機がせまっているもの
絶滅危惧2類	絶滅の危険が大きくなっているもの
準絶滅危惧	生息場所などが不安定なもの
情報不足	評価するだけの情報が不足しているもの

注）くわしい説明については環境省または岡山県のホームページを参考にしてください。

かくにん ぎよるい
○確認した魚類の説明

・オイカワ

ハエ、シラハエなどと言われ、寒^{かん}バエ釣^つりで有名です。体長は約 15 cm です。岡山県内の川や水路に広く生息し、放流も行われています。産卵^{さんらん}時期^{おす}の雄には青緑とピンクのまだら^{もよう}模様^{おす}が現れます。

(写真は雄)



・カワムツ

モツ、ネコマタギ^{さんらん} (産卵^{おす}時期^{おす}の雄) などと言われ、岡山県内の川や水路に広く生息しています。体長は約 20 cm です。最近、カワムツとヌمامツ (岡山県では主に平野部に生息) の2種に分けられました。



・タカハヤ

ドロバエ、クソバエとも言われ、岡山県内の中部より北側に広く生息しています。体長は約 15 cm です。

(写真は幼魚)



・ウグイ

イダ、イダゴイなどと言われ、岡山県内の川に生息しています。体長は約 30 cm です。産卵^{さんらん}時期^{おす} (春) には体にそって三本の赤い線^{あらわ}が現れます。

(写真は幼魚)



・ムギツク

頭から尾まで太い黒線が走る魚で、岡山県内では川に広く生息しています。体長は約 15 cm です。オヤニラミ（スズキの仲間）やドンコ（ハゼの仲間）の産卵場所（さんらん たまご）に卵（たまご）を産み付ける面白い習性（しゅうせい）が知られています。

（写真は幼魚）



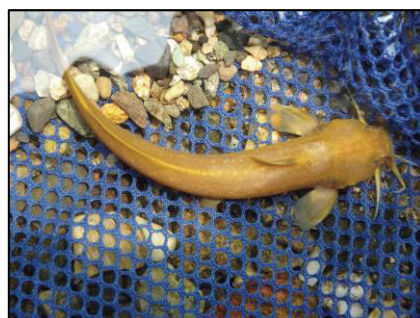
・カマツカ

スナホリなどと呼ばれ、岡山県内の川や水路に広く生息しています。全長は約 20 cm です。いつも川の底に張り付いており、よく砂（もぐ）に潜ります。



・アカザ

チョウキリなどと呼ばれ、岡山県内では流れの速い川の底石の多い場所に生息していますが、数は多くありません。体長は 10 cm です。ヒゲ（せ）が 8 本あり、背びれ（むな）と胸びれの付け根（とげ）の棘（とげ）に毒（どく）があり、棘（とげ）に刺（さ）されると大変痛（いた）みます。



・アユ

友釣りの対象（ともづ）として有名で、岡山県内の川に広く放流されています。体長は約 20 cm です。石の表面に生育（そうるい）する藻類（らんそう けいそう）（藍藻・珪藻）を食べるため、生息場所（しょうこん）にはゆがんだキスマークのような食痕（しょくこん）（はみあと）が見られます。



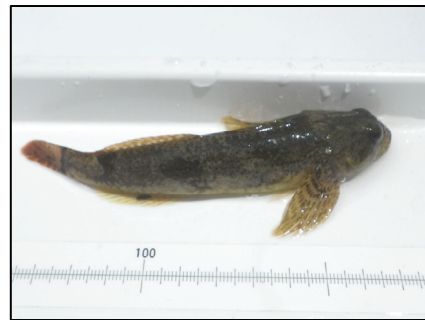
(参考) アユのはみあと



・カジカ類

一見、ハゼの仲間に見えますが、海に生息するカサゴの仲間です。体長は約 15 cm です。岡山県内では、流れの速い川の底石の多い場所に生息していますが、数は多くありません。

岡山県にはよく似た2種類（大卵型、^{だいらんがた}中卵型^{ちゅうらんがた}）が生息するとされています。



・カワヨシノボリ

ゴリなどと言われ、岡山県内の川や水路の底に広く生息するハゼの仲間です。体長は約 6 cm です。岡山県ではよく似たヨシノボリ類の仲間が何種類か^{しゆるい}生息していますが、本種は数が最も多く、広く生息しています。



(2) 底生生物

- ・ 34 種の底生生物が確認されました。
- ・ 最も多く確認されたのは、昆虫の仲間のシロタニガワカゲロウ幼虫、ウルマーシマトビケラ幼虫、ヒゲナガカワトビケラ類幼虫でした。
- ・ きれいな水に生息する種として、ナミウズムシやサワガニの他、昆虫の仲間のヒラタカゲロウ類幼虫、チラカゲロウ幼虫、オオマダラカゲロウ幼虫、カミムラカワゲラ幼虫、ヒゲナガカワトビケラ幼虫などが確認されました。
- ・ 確認された底生生物から、環境省の生物学的な水質判定を行った結果、両方の水質階級Ⅰ（Ⅰ）（きれいな水）と判定されました。（水質階級についてのくわしいことは環境省のホームページを見てください）

(参考) 水質階級表

水質階級	水質
水質階級Ⅰ（Ⅰ）	きれいな水
水質階級Ⅱ（Ⅱ）	ややきれいな水
水質階級Ⅲ（Ⅲ）	きたない水
水質階級Ⅳ（Ⅳ）	とてもきたない水



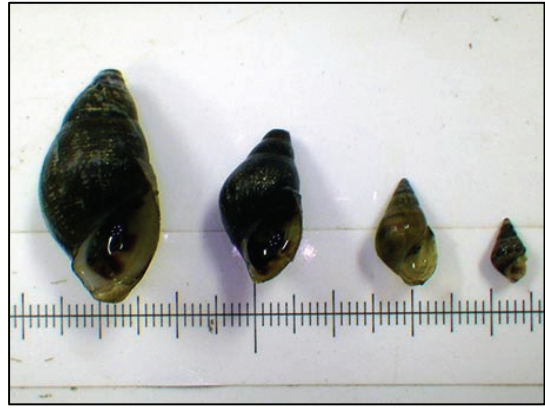
かくにん ていせいせいぶつ
確認した底生生物

番号	ぶんるい 分類(仲間分け)	種名	
1	プラナリアの仲間	ナミウズムシ	
2	貝の仲間	カワニナ	
3		シジミ類	
4	エビカニの仲間	カワリヌマエビ類	
5		サワガニ	
6	カゲロウの仲間	コカゲロウ類幼虫	
7		シロタニガワカゲロウ幼虫	
8		ウエノヒラタカゲロウ幼虫	
9		ナミヒラタカゲロウ幼虫	
10		チラカゲロウ幼虫	
11		モンカゲロウ幼虫	
12		オオクママダラカゲロウ幼虫	
13		クロマダラカゲロウ幼虫	
14		オオマダラカゲロウ幼虫	
15		トンボの仲間	オナガサナエ幼虫
16			コオニヤンマ幼虫
17			オジロサナエ幼虫
18			コヤマトンボ幼虫
19		カワゲラの仲間	フサオナシカワゲラ類幼虫
20	カミムラカワゲラ幼虫		
21	フタツメカワゲラ類幼虫		
22	クラカケカワゲラ類幼虫		
23	トビケラの仲間	ウルマーシマトビケラ幼虫	
24		ヒゲナガカワトビケラ幼虫	
25		ヒロアタマナガレトビケラ幼虫	
26		カクツツトビケラ類幼虫	
27		グマガトビケラ類幼虫	
28	ハエの仲間	コクロバアミカ幼虫	
29		スカシアミカ幼虫	
30		ユスリカ類幼虫	
31		アシマダラブユ幼虫	
32	コウチュウの仲間	マルヒラタドロムシ類幼虫	
33		ヒラタドロムシ幼虫	
34		ゲンジボタル幼虫	

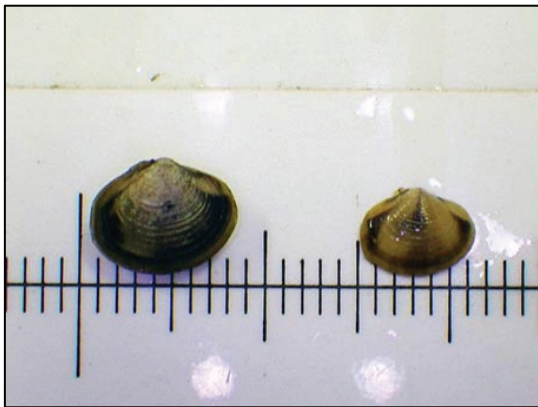
かくにん ていせいせいぶつ
○確認した主な底生生物の写真



ナミウズムシ



カワナ



シジミ類



サワガニ



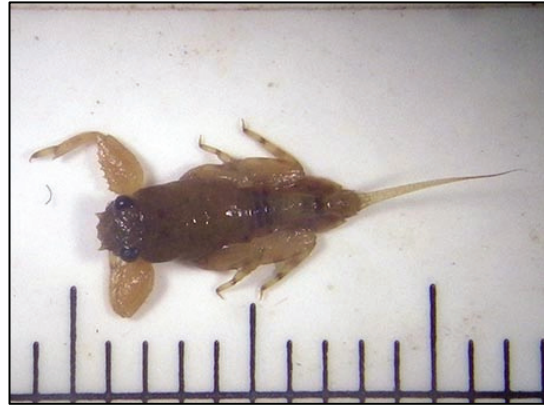
シロタニガワカゲロウ^{ようちゅう}幼虫



チラカゲロウ^{ようちゅう}幼虫



モンカゲロウ^{ようちゆう}幼虫



オオマダラカゲロウ^{ようちゆう}幼虫



ダビドサナエ^{ようちゆう}幼虫



カミムラカワゲラ^{ようちゆう}幼虫



ウルマーシマトビケラ^{ようちゆう}幼虫



ヒゲナガカワトビケラ^{ようちゆう}幼虫



カクツツトビケラ類^{ようちゆう}幼虫の巢



コクロバアミカ^{ようちゆう}幼虫



アシマダラブユ^{ようちゆう}幼虫



ヒラタドロムシ^{ようちゆう}幼虫



ゲンジボタル^{ようちゆう}幼虫

(3) ^{そうるい}藻類

- ・ビロードランソウやニセタルケイソウ、クチビルケイソウなどを確認しました。

^{かくにん} ^{そうるい}
確認した藻類

分類(仲間分け)	和名
^{らん} ^{そう} 藍藻	ビロードランソウ
^{けい} ^{そう} 珪藻	ニセタルケイソウ
	タルケイソウ
	イタケイソウ
	ハリケイソウ
	クチビルケイソウ
	クサビケイソウ
	フナガタケイソウ
	マガリクサビケイソウ
	コメツブケイソウ
	ササノハケイソウ
^{りよく} ^{そう} 緑藻	カワシオグサ

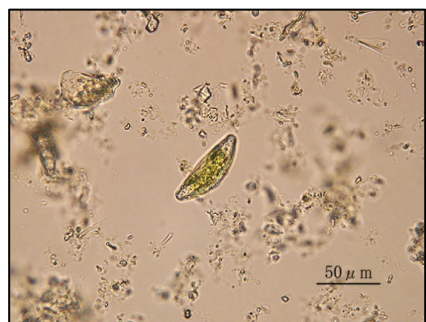
^{かくにん} ^{そうるい} ^{けんびきょう}
○確認した主な藻類の写真 (写真は顕微鏡写真です)



ビロードランソウ



ニセタルケイソウ



クチビルケイソウ